

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-KOTO

# THE SERVICE CLUB OF YMCA

Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs, Chartered, 1959

Koto YMCA 3-15 Ishijima Koto-ku Tokyo Japan. Phone (03) 3645-7171. FAX (03) 3645-8454



国際会長 Moon Sang-Bong (韓国)  
 アジア太平洋地域会長 田中博之 (東日本区)  
 東日本区理事 宮内友弥 (東京武蔵野多摩)  
 関東東部部長 衣笠輝夫 (埼玉)  
 東京江東クラブ会長 宇田川敬司

主 題 "Yes, We Can Change!" 「私たちは変えられる」  
 スローガン "Courage to challenge" 「挑戦への勇気」  
 主 題 "Action!" 「アクション！」  
 スローガン "With Pride and Pleasure"  
 「誇りと喜びを持って」  
 理事主題「為せば、成る」(No challenge, No fruit)  
 スローガン「ワイズが何をしてくれるのではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう。」  
 (Ask not what Y's can do for you. Ask what you can do for Y's.)  
 部長主題「良いものを見つけ、つなげて、よくなるよう」  
 会長主題「ワイズメンズクラブだから」を楽しもう!



## 2018～2019年度 東京江東ワイズメンズクラブ 11月報

### 11月例会

と き 2018年11月15日 (木) 19:00～20:50  
 ところ 東京江東YMCA  
 ゲスト 会費 無料  
 受付 島田徹君

#### プログラム

司会 相川達男君  
 開会点鐘 会長 宇田川敬司君  
 ワイズソング  
 ワイズの信条 山崎常久君  
 開会挨拶 会長 宇田川敬司君  
 スピーチ『リーダー研修会報告及び広島災害支援報告』  
 『ユースリーダー研修会報告』  
 スピーカー：ばくリーダー (小倉明日香さん)  
 『全国リーダー研修会報告』  
 スピーカー：シナモンリーダー (粉川美乃里さん)  
 『YMCA広島災害支援報告』  
 スピーカー：YMCA江東センター 加藤学さん  
 スマイル、各種報告、  
 ハッピーバースデー・結婚記念日  
 閉会点鐘 会長 宇田川敬司君  
 (懇親会は山ちゃん家で行う。)

※ハッピーバースデー  
 メン 12日 佐藤明生君、13日 藤井寛敏君、22日 安藤正武君  
 ※結婚記念日  
 6日 鈴木雅博・けい子夫妻、13日 小松重雄・敦子夫妻、  
 22日 柳澤廣繁・フキ子夫妻

#### 今月の聖句

『王は言った。「だが、わたしには四人の者が火の中を自由に歩いているの見える。そして何の害も受けていない。それに四人目の者は神の子のような姿をしている。』」  
 ダニエル書 3章 25節



### 二つのワイズ理解を

東日本区ヒストリアン 仙洞田安宏  
 (甲府クラブ)

11月は「ワイズ理解」の強調月です。これは日本で最初のワイズメンズクラブである大阪クラブが、1928年11月10日に国際協会に加盟したことから、これを記念して11月10日を「ワイズデー」としていることによります。

「ワイズ理解」という言葉の解説は、「HANDBOOK & MEMBERSHIP ROSTER」(通称ロースター)の「ワイズ用語」の欄には取り上げられていません。したがって各々が自分流の「ワイズ理解」をすれば良いと理解します。そこで私流の「ワイズ理解」を述べてみたいと思います。

「ワイズ理解」という言葉には二つの解釈があり、ひとつは内向けと言いますか、文字通り会員としてワイズの活動を理解すること、もうひとつは外向け、つまり社会にワイズを理解してもらうことだと思います。

内向けの理解は、ロースターの色紙のページ(ハンドブック)部分に網羅してある、定款、諸規則、用語、組織と言った基本的な事柄を読めば、おおた理解することができるでしょう。ただそれは知識としての理解であって、身をもって理解することとは違います。日常のワイズの活動に能動的・積極的に参加して、クラブ内外のワイズ仲間との交わりの中から、ワイズのエッセンスを肌で感じることが、真の理解に繋がるものと思います。

一方、外向けの理解は世の中にワイズの活動を理解してもらうことです。言わば広報ですが、広報については、CS活動を通じてメディアを活用等、そしてそれが会員増強にも繋がること等、これまでも色々な場面で語られています。内向けの理解と違って、大局的な視点が必要とされるでしょう。それを養うのも「ワイズ理解」からです。

いずれにしても、この「二つの理解」は、実践しないことには意味がありません。幸い東京江東クラブには、この「ワイズ理解」を実践する環境が整っていると思いますので、今後も大いに期待しています。

### 今月の強調月：ワイズ理解 ファミリーファスト

10月会員数	10月出席者	10月出席率	アクティブファンド		ニコニコボックス		クラブ役員	
21名	メンバー 14名	78% (14/18)	前年まで	2,190,997	前月まで	23,550	会 長	宇田川敬司
内広義会員 3名	メ ネット 0名		10月分	10,200	10月分	10,200	副 会 長	山崎常久
休会0名	コ メ ッ ト 0名		残高	2,201,197	累計	33,750	会 計	島田徹
	ビ ジ タ ー 0名						書 記	相川達男
	ゲ ス ト 5名						直 前 会 長	酒向裕司
							連 絡 主 事	草分俊一

## 本例会～ハイデラバードの熱い風～市崎俊一

10月の本例会はインドのハイデラバードワイズメンズクラブよりクマールさんと御家族御友人合せて5名のお客様をお招きして、ハイデラバードクラブの活動状況をお話しいただきました。日程もお客様の旅程に合わせて本来の第3木曜日ではなく、第3火曜日に開催しました。5人のうち4人がベジタリアンという状況に、お弁当をどうするかでひと騒動ありましたが、流石、日本の仕出し弁当屋さんは優秀で、ベジタリアン弁当もあるとのこと一安心。ふたを開けてみれば精進料理で、妙に懐かしい味で、お客様にも召し上がっていただけてホッとしました。ハイデラバードクラブは1958年チャーターで、過去にはサイクロン被災者支援で50軒もの避難所を建てたり、孤児院を何軒も建てたり、眼鏡や薬の無償配布を行う等、精力的に慈善活動を行ってきている他、YMCAとスポーツ大会を共催するなどインド国内で精力的に活動しているとのこと。日本との関係は彦根クラブ・沼津クラブとトライアングルIBCを締結し、毎年、スタディーツアーを招聘されているそうです。この度、江東クラブにもIBC締結の呼びかけをいただきましたが、これは流石に難しそうなので、宇田川会長に来年、ハイデラバードに行ってもらうことで勘弁してもらうことになりそうです。(参加者:相川、安齋、安藤、市崎、菊地、草分、小松、酒向、島田、鈴木、駿河、藤井、本間、山崎)

## クマールさん御一行東京見物

山崎常久



インドはハイデラバードクラブからクマールさん御一行5名が10月16日から18日まで滞在され、東京見物を楽しまれました。藤井さんとガイドよろしくご案内したので、そのことをつらつらと。御一行は彦根から沼津、川越を経ての上京で、16日の午後からガイドスタートです。予定より早く着かれたのでまずは都庁を御案内。展望台から東京を眺めていただき、それから江東クラブの例会に出席していただき彼のクラブの歴史と活動状況をお話しいただきました。翌日は朝から浅草見物。浅草寺を参拝し仲見世をひやかし、ベジタリアンなのでイタリアンで昼ごはん。浜離宮まで水上バスで移動して、日本庭園を巡っていただき、電車でホテルに戻りました。息子のフェンシング道具を買いたいというパニさんを雑司ヶ谷の専門店に御案内し、少し遅れて歓送会に参加。別れを惜しむ日本のワイズの面々とひと時をすごしました。翌朝は宇田川会長も加わり藤井

さんと三人でドームホテルのリムジンバスまでお見送り。「ハイデラバードに必ず来てくれ」という呼びかけに「宇田川会長が必ず行く！」と力強く答えて彼らは車中の人となりました。

## 十勝ワイズポテト来る！

宇田川敬司

今年も季節の風物詩、DBC十勝クラブよりじゃがいもが届きました。10月23日(水)13時から5トンコンテナ2両分、約1,000箱のジャガイモとカボチャと玉ねぎを、トラックをセンターの裏門に横付けして、バケツリレーの要領で降ろしました。今年はメンバーは多忙でお手伝いできませんでしたが、購入面では例年通りの数を買わせていただきました。十勝クラブの山田さんのご厚意で玉ねぎを特別にメンバー全員に送っていただき、感謝です。皆、大変、喜んでおります。ありがとうございました。

## 10月役員会報告

島田 徹

今回の役員会は、「藤井君バレンタイン賞受賞祝賀会」の打ち合わせ中心に進んだ。葉書による出欠からの人数、クラシックを弦楽四重奏とする事、最初ジャズセッションも考えていたが、時間の都合で取りやめになり、メインの藤井君の受賞のお祝いを渡す際、猪木ボンパイエの音楽から、懐かしの「カモンガッツ」になり、フローごとに、確認作業を行い、最終的に司会は、リーダーのマロンと、総合プロデューサーの山崎君が行うことになり、集合時間厳守といういつにない締めで解散となった。さすがに任されればこれだけの緻密なプログラムフローを作る山崎君のパワーは大したものだと再確認の役員会でありました。

その他、バザー11日 8時集合

11月本例会 15日 リーダーズフォーラム等

(出席者 山崎、藤井、相川、小松、駿河、草分、マロン、香取、島田、酒向)

## 11月第一例会議事録

2018年11月1日 江東YMCA 19:00～

- ①11日バザー、出店確認 うどん、そば/ヤキトリ/チャーハン  
集合時間8:00  
バザー終了後にセンター3階で行われる打ち上げには極力参加して父兄と交流を図る。  
うどん150食・そば100食・焼き鳥1800本・チャーハン去年よりごはん1箱分少な目
- ②11月本例会  
江東リーダーのフォーラム、全リー研参加報告と加藤氏の広島支援報告  
食事なし、懇親会手配は宇田川会長
- ③バレンタイン賞受賞祝賀会準備進捗報告、打ち合わせ。  
江東メンバーの役割分担、タイムスケジュール、準備する物等
- ④11月17日関東東部評議会出席者確認  
相川が出席予定
- ⑤11月予定確認  
11/1 第一例会  
11/4 バレンタイン賞受賞祝会  
11/11 江東バザー  
11/15 本例会  
11/29 役員会  
(出席者 宇田川、草分、小松、酒向、島田、鈴木、駿河、藤井、本間、山崎、相川)

## バラントイン賞を受賞して

藤井寛敏



韓国ユースでの第72回国際大会の第1日目の夜、司会者の突然の発表により、直前会長のHenry J Glindheimさんよりバラントイン賞を受賞しました。

私の人生、特にワイズの人生は今や最終コーナーに差し掛かっています。そんな私にとってこの賞の受賞は長いワイズ人生の中で最も大きな驚きの1つでした。

入会から今日まで振り返ることもあまりなく、あっという間の40年という印象でしたが、先日、クラブ主催で開いてくれました受賞祝賀会のプログラムの1つとして「ワイズは楽しー40年の軌跡―」と題してパワーポイントをお見せすることになり、よい機会だと思い、古い写真の整理方々作り始めましたが、写真を見ながら3日間くらい走馬灯のように様々な思い出に浸り、本当に良い機会を持つことができました。まさに映画「カサブランカ」の中の名セリフ“*There was a lot of water under the bridge*”を実感しながらの3日間でした。

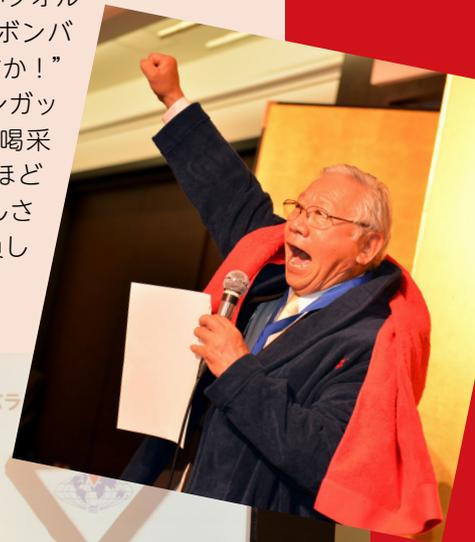
そしてpick upした写真は100枚以上で文章をつけてしゃべってみましたらなんと60分!! 司会者から指定された時間は20分。自分本位の編集に猛反省しまして削りに削って何とか25分で勘弁してもらうことにしました。私は交流、研鑽と少しの奉仕でワイズライフを楽しみながらも常々クラブ段階から国際の段階までそれぞれ置かれたpositionのところの発展にbestを尽くすということを心掛けてきました。国際の舞台で最も印象に残ったことは国際議会改革に関わったことでした。当時のいくつかの国際の課題を共通の認識として議員数の削減、29歳から35歳までの若手議員の選出、地域によるバランスの取れた議員構成、議員の任期を2年に短縮などを3年がかりで実現しました。トロイカのメンバーとTask Forceの皆さん、そして国際書記長の西村さんの協力なしには実現しなかったことでしょう。この賞はこれらの人にこそ与えられるべき

ものであり、私はそれらの人々を代表していただいたと理解しております。この間、仲間たちとの楽しい交流は私にとっては掛替えのない経験でした。しかしこんな改革では将来のワイズの発展は期待できません。ここ数年のメンバー数の減少を見れば根本的に「新しいワイズ」に生まれ変わる方が必要だと思います。これからの若いワイズメン、ワイズウイメンに期待するところであります。

## 藤井寛敏君バラントイン賞 受賞祝賀会

小松重雄

8月の韓国国際大会において、江東クラブの藤井さんが見事受賞いたしました。はじめ、あまりこの賞についてピンと来なかったのですが、東西日本区の中で過去6名しか受賞したことがなく、藤井さんで7人目と聞き大変わびっくりしました。そこで、江東クラブの現役員と江東YMCAのスタッフを中心に日時や場所プログラムについて速やかに準備が進められ当日を迎えました。11月4日(日)青山にあるアイビーホール地下2F“サフラン”にて12時に開会されました。会は江東クラブの山崎さんとリーダーOBマロンこと大木さんの司会で進められました。宇田川会長の挨拶に次いで、元日本区理事の森田恵三さんより祝福の言葉と、東西日本区のメンバーの推移についての説明とEMCをこれからますます推進していくことを強調してのスピーチでした。会場が一番盛り上がったのは、藤井さんへの記念品贈呈で、送られた青いバスローブと赤いタオルを身につけ軽妙な“猪木ボンバイエ”に乗って“元気ですか!”と共に決め台詞の“カモンガッツ”には会場から大きな喝采が上がりました。2時間ほどの祝会でしたが、江東らしさが前面に発揮されたと自負しております。



当日のお写真は、左のQRコードまたは以下よりご覧ください。

<https://yahoo.jp/box/fKvviy>

# YMCAニュース

## 江東センター&幼稚園の報告

### ▼入園考査

11月1日(木)、2019年度入園考査が行われました。

### ▼運動会

10月14日(日)、運動会が扇橋小学校体育館で行われました。天候は回復に向かっていましたが、前日夜からの雨により扇橋小学校の校庭のコンディションは良くありませんでしたので、雨天プログラムへと変更になりました。場所、規模が校庭とは違いますが、園児たちは元気いっぱい運動会を楽しんでいました。

### ▼お芋掘り遠足

10月30日(火)、年少さんから年長さんのみんなで、千葉県山武市にある有野実園にお芋掘り遠足に行ってきました。10月下旬でしたが、暖かい日差しに守られ、楽しい一日を過ごすことができました。今年は例年になく大きなサツマイモとご対面できました。

### ▼ソフトボール大会



10月8日(体育の日)、第35回会員ソフトボール大会が出版健康保険組合大宮運動場にて開催されました。秋晴れの中、今年は我江東コミュニティセンター&幼稚園が全体運営を行いました。

- 江東コミュニティセンター&幼稚園からは今年も3チームがエントリーしました。
- リーダー! 園児! 卒園児! 保護者! ワイズメン! スタッフ! でチームを構成し、総計80名が参加しました!!!
- 朝早くからのご参加ありがとうございました!
- 今大会の実行委員長はずっきーことズ鈴木雅博ワイズでした!
- 優秀選手賞にリーダーOG! ママ! が選ばれました!

### ▼全国リーダー研修会

10月6日(土)~8日(月・祝)、経験リーダーを対象とした全国研修会が今年も仙台で行われました。東京YMCAからは各コミュニティセンターより1名枠となり、江東コミュニティセンターからは粉川美乃里(シナモン)リーダーが参加してきました。11月の本例会で報告をさせていただきます。



### ▼じゃがいも搬入! & 販売!

毎年恒例のじゃがいもの搬入が 10月23日(水)、14:00~搬入開始予定でしたが、急遽13:00~と変更! しかしこのようなハプニングに園児のお母さんたちは臨機応変に対

応して下さりました。そして虹の会のお母さんたち、社協の方々にお手伝いいただき、バケツリレーで約1,000個のじゃがいも、かぼちゃ、三種盛りをコンテナから下ろすことができました。元ワイズメンの太田さんが見えました。「ワイズの方々にお会いできず寂しいですね」とのこと。来年は顔だしてください! よろしくお願い致します。(写真は太田さん撮影)



## 江東コミュニティセンター&幼稚園の予定

### ▼コミュニティセンター 子ども・大人クリスマス会

12月1日(土) 16:30ころ~18:00ころです。ご予約ください!

大人はゴスペルを練習します! お楽しみに!

### ▼幼稚園終了式: 12月19日(水)

▼OZEエンジョイスキーキャンプ(尾瀬戸倉): 12月27日(木)~30日(日) 3泊4日。

対象は年中~小学6年生。尾瀬戸倉のゲレンデでスキーキャンプを開催いたします。

▼わんぱく戦隊トマルンジャー12月20日(木)~22日(土)。対象は年中~年長。

1日目はデイキャンプ。2日目は1泊のお泊り。宿泊先は高尾の森わくわくビレッジです。

\*お子様! お孫さま! ...冬休みに価値ある体験を!!! 是非、ご参加ください。

## オール東京

▼オール東京スキー実技リーダートレーニング(尾瀬・丸沼高原):

12月13日(木)~16日(日)

### 今後の予定

11月11日(日)	江東YMCAバザー
11月15日(木)	本例会
11月17日(土)	関東東部評議会
11月29日(木)	役員会



### 編・集・後・記

秋も深まり夜の時間も長くなり絶好の夜遊びシーズン到来。と思いきや腰痛、神経痛にみまわれ家で大人しく過ごす今日この頃。(青海苔屋)

秋はワイズ活動目白押し! 『こなす』のでは無く『楽しもう!』(K.U)

立冬を越しても小春日和の穏やかな週末は未だ青い芝生の上で楯円球と戯れています。北陸に蟹襲来の広告に胸躍らせながら寿司屋の暖簾をくぐったらまさかの未達でズッコケました。(痛風)